

令和 6 年度地方公務員の懲戒処分者数等に関する調査結果(抄)

1. 懲戒処分者数の状況

■懲戒処分とは

職員の義務違反あるいは非行等に対する
公務秩序維持の観点から行われる処分

○ 令和 6 年度中に懲戒処分を受けた職員数は 4,682人
(対前年度比 +239人)

○ 主な行為別の処分者数

- ・「一般服務違反等関係」 2,188人 (対前年度比 +226人)
(通常業務処理不適正、教員による児童生徒に対する非違行為、欠勤・遅刻・早退・勤務態度の不良等)
- ・「交通事故・交通法規違反」 1,045人 (同 +105人)
(飲酒運転等)
- ・「公務外非行関係」 752人 (同 ▲ 22人)
(金銭・異性関係等の非行等)
- ・「監督責任」 474人 (同 ▲ 8人)

○ 種類別の処分者数

- ・「免職」 564人 (対前年度比 ▲ 41人)
- ・「停職」 957人 (同 + 69人)
- ・「減給」 1,499人 (同 + 98人)
- ・「戒告」 1,662人 (同 +113人)

2. 分限処分者数の状況

■分限処分とは

心身の故障の場合など、公務能率の確保等の
観点から行われる処分

○ 令和 6 年度中に分限処分を受けた職員数は 38,444人
(対前年度比 +1,377人)

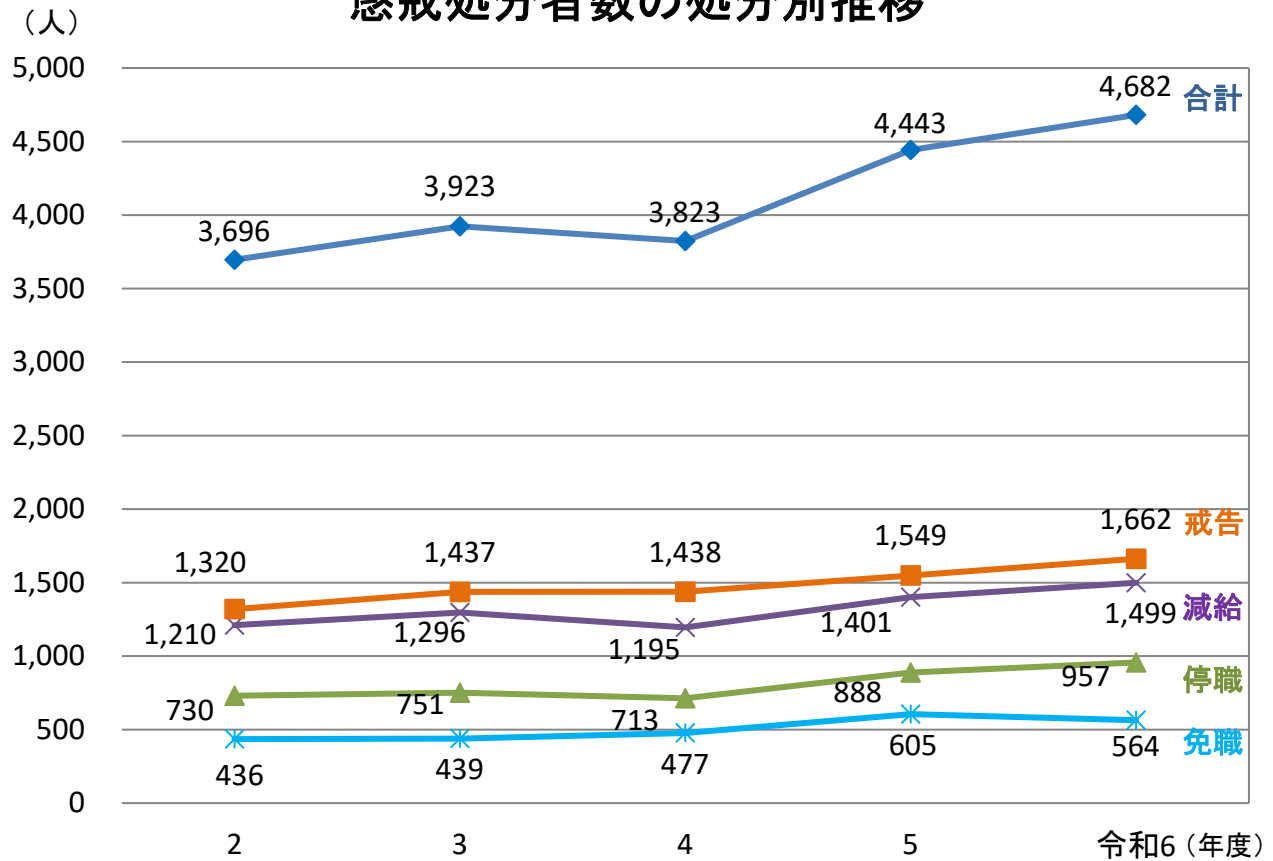
○ 主な事由別の処分者数

- ・「心身の故障の場合」 37,426人 (対前年度比+998人)

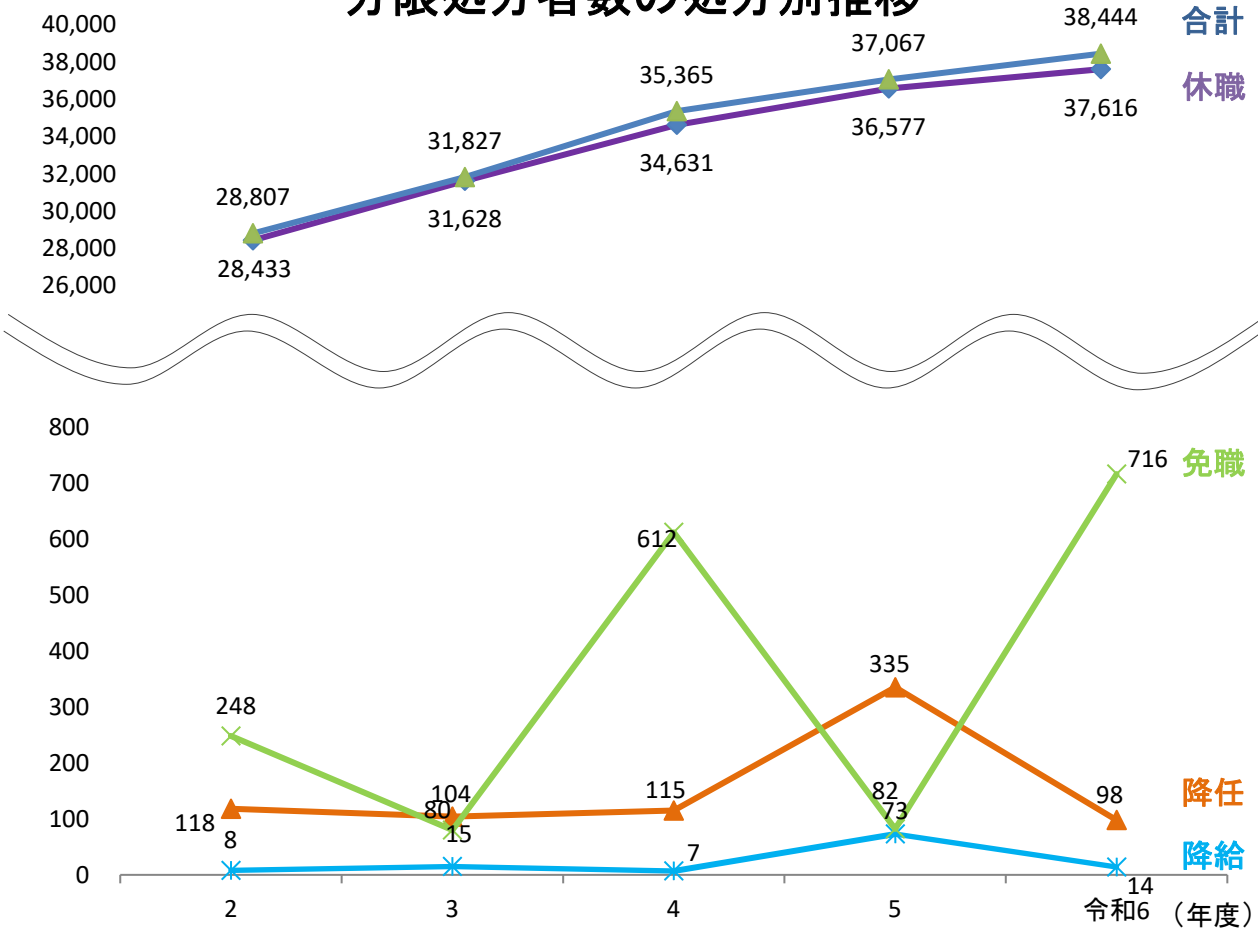
○ 種類別の処分者数

- ・「免職」 716人 (対前年度比 +634人)
- ・「降任」 98人 (同 ▲237人)
- ・「休職」 37,616人 (同 +1,039人)
うち心身の故障の場合による休職 37,383人 (対前年度比 +1,001人)
- ・「降給」 14人 (同 ▲ 59人)

懲戒処分者数の処分別推移



分限処分者数の処分別推移



3. 汚職事件の状況

■汚職とは

私利私欲のために職に関して不正をなすこと

- 事件件数 86 件（対前年度比 +12 件）
発生団体数 77 団体（同 + 9 団体）
当事者数 90 人（同 +11 人）

- 汚職事件のうち
横領 63 件（対前年度比 +19 件）
収賄 14 件（同 + 1 件）

※ 両種別を合わせると、汚職事件全体の約 9 割を占める。

- 部門別では
「教育」（24 件、27.9%）
「総務（税務含む）」（14 件、16.3%）
「公営企業」（12 件、14.0%）など

- 態様別では
「公金等の取扱」（51 件、59.3%）
「土木建築工事の執行」（13 件、15.1%）など

※ 公金等の取扱の「公金等」には、学校徴収金等、外郭団体・所管団体の運営費等、施設の使用料等がある。

- 事件発生 of 主な要因（各項目内の選択肢で複数回答可）
 - ・ 職員としての資質の欠如：123 件
（公務員倫理の欠如、私生活における問題等）
 - ・ 業務チェックの不備：82 件
（担当者による単独での事務、監査・検査の形骸化等）
 - ・ 監督の不十分：65 件
（上司の指導・監督に対する認識不足、事務繁忙のため監督不十分等）